

# 緑 楠

佐賀北高等学校全日制 学校だより 第7号  
令和7(2025)年9月10日(水)

【本年度の重点目標】  
一人一人が **かがやく佐賀北**

写真は一部を除き本校ホームページでカラーで見ることができます。ぜひご覧ください！

※甲子園大会の写真は日本高野連からの指導により掲載枚数が少なくなっています

## 本校野球部が甲子園に出場しました！



8月5日(火)に開幕し、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で行われた第107回全国高等学校野球選手権大会に本校野球部が出場、大会5日目の9日(土)に行われた1回戦(対:青藍泰斗高<栃木>)に勝って悲願の甲子園1勝を果たし校歌を歌うことができましたが、大会10日目の15日(金)に行われた2回戦(対:明豊高<大分>)では健闘したものの残念ながら敗退しました。

野球部は5日(火)16時からの開会式で堂々と行進、2回の試合でよくがんばりました。

2回の試合にはそれぞれ生徒・引率職員による0泊3日の応援バスツアーが生まれ、2試合で延べ約850名の大応援団が甲子園球場に向かいました。応援ツアーの生徒・引率職員、チアリーダー・吹奏楽部、引率職員その他、保護者・同窓生の方々、地元佐賀から、また全国の野球ファンの方々が甲子園球場に駆けつけてくださり、画面越しにも地元佐賀をはじめ多くの方々が応援してくださいました。

この経験を通して本校野球部は大きく成長しました。早くも新チームが始動、引退した3年生も今回の経験を糧に今後がんばってくれることと思います。応援した私たちチーム北高にとっても大切な、貴重な思い出となりました。







## 野球部主将 宮崎 淳多くん（3年2組）からのコメント

7月5日から始まった第107回全国高等学校野球選手権大会佐賀大会からたくさんの方々に応援していただき、ありがとうございました。みなさんの応援が力になって、甲子園への切符をつかみ取ることができました。甲子園大会では生徒や吹奏楽、チアリーダー、地域の方々、卒業生の方々を含めたたくさんの方々が甲子園球場まで足を運んでくださり、おかげさまで勝って校歌を歌うことができました。みんなでつかみ取った1勝であり、感謝の気持ちでいっぱいです。私たちにとって夢の舞台である甲子園でプレーすることができたのはよい思い出であり、北高みんなで戦った最高の夏になりました。甲子園でプレーできるというのはほんの一握りであり、佐賀代表として堂々とプレーできたことを誇りに思います。6年ぶりの出場、18年ぶりの甲子園での勝利を果たせてよかったです。本当にありがとうございました。後輩たちが来年もきっとやってくれます。今後とも応援よろしくをお願いします。

本校野球部を応援して下さったすべてのみなさま、  
本当にありがとうございました!!

## 本校新体操部がインターハイで準優勝しました！



7月下旬から8月中旬にかけて、令和7年度全国高等学校総合体育大会「開け未来の扉 中国総体2025」が行われました。8月8日(金)～10日(日)に山口県下関市のJ:COMアリーナ下関(下関市総合体育館)で行われた新体操競技で、本校新体操部が女子団体で24.300点をマークし、見事準優勝しました。おめでとうございます！

初出場した昨年は大きなミスなく演技しましたが、それに満足せず1年間、表現力や質の向上にこだわってきた結果、インターハイ準優勝という輝かしい栄誉を得ることができました。主将の森 絢音さん(3年4組)にコメントをいただきました。



### 新体操部主将 森 絢音さん(304)のコメント

インターハイでは九州1位としてのプレッシャーもありましたが、北高らしく踊りきることができ準優勝をいただきました。また、11月に行われるALL JAPANの出場権を北高として初めて勝ち取ることができました。これから行われる大会も笑顔で終われるようにがんばります。たくさんの方の応援ありがとうございました！

今後の大会に向けてさらなる成長を期待しています！

なお、第1回戦はインターハイ中で参加できませんでしたが、終了後、8月15日(金)に行われた野球部の第2回戦の応援ツアーに参加し、チアリーディングで盛り上げました。約20種類の振り付けを完コピし、全国トップクラスの表現力と演技を披露しました。

## 本校吹奏楽部 吹奏楽コンクールに出場

7月の県大会(吹奏楽部A)





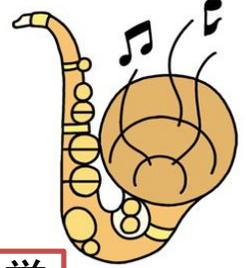
7月の県大会(B)

佐賀県合同吹奏楽団の一員として出場する等、夏休み返上で活躍してくれました。今年の夏は本当に忙しかったと思いますが、吹奏楽部のみなさんが今後、さらに成長することを期待しています！

また、8月7日(木)に行われた第49回佐賀県高等学校音楽コンクール 金管楽器部門において西村 陽花里さん(3年7組)が金賞を受賞し、11月29日(土)に福岡県飯塚市で行われる第49回全九州高等学校音楽コンクールに佐賀県代表として推薦されることが決定しました。おめでとうございます！

前号でもお伝えしたとおり、7月24日(木)～27日(日)に佐賀市文化会館で行われた第66回佐賀県吹奏楽大会において、本校吹奏楽部A・Bともに高校の部で金賞を受賞、さらにAが8月24日(日)に福岡市の福岡サンパレス ホテル&ホールで行われた第70回九州吹奏楽コンクール高校部門に佐賀県代表として推薦され出場、銀賞を受賞しました。2年連続の金賞受賞は残念ながら果たせませんでした。部員たちはよくがんばりました。

また、吹奏楽部は後述のように8月1日(金)の体験入学で演奏し、9日(土)と15日(金)の野球の試合でも応援ツアーに参加し演奏を行ってくれました。さらに一部部員は7月29日(火)・30日(水)に香川県高松市で行われた第49回全国高等学校総合文化祭(かがわ総文祭2025) 吹奏楽部門に



## 体験入学

8月1日(金)に普通科、18日(月)に芸術科の体験入学が開催されました。普通科の体験入学は吹奏楽部による歓迎演奏が行われた後、各教室で受付があり、学校紹介がリモートで行われ、各教室で体験授業を受けたり、体験入学の前日にでき上がった放送部制作のビデオを視聴しました。学校紹介は生徒会長の古場 翔太くん(2年1組)が挨拶を行った後、生徒会役員により過去の体験入学アンケートの質問事項への回答がありました。受付や自転車・送迎車の誘導、駐輪指導、校舎内での中学生の誘導には各運動部活動、学校紹介(リモート)では放送部、



吹奏楽部の歓迎演奏 取り囲むようにたくさんの中学生が見ていました



教室で学校紹介を見る中学生

18日(月)の芸術科の体験入学は2年7組の生徒が受付や誘導係として手伝いました。受付後は音楽・美術・書道に分かれて学校や芸術科の教育活動についての説明後、音楽は楽器の指導、美術・書道は実技体験等が行われました。

日程終了後の部活動見学では各部活動のみなさんの協力で無事に終了しました。この日の最高気温は36℃まで上がりたいへん暑い日で、700名近くの中学3年生が参加しましたが、予定通りに終わることができました。



会議室から学校紹介を配信しました



地学部の教室棟屋上での観測体験



美術の実技体験

## 神野公民館 高校生Teacher講座

2003（平成15）年度から行われている神野公民館（佐賀市神野西）の「高校生Teacher講座」が今年も開催されました。

最初に、「正座・黙想・礼」から基本の「突き」「蹴り」「受け」までを一緒にした後、「移動稽古」を高校生1人1人がマンツーマンで教えました。4月から空手を始めた生徒たちですが、学んできたことを試行錯誤しながら自分なりのやり方で小学生に教えることができていました。その甲斐あって、全員で合わせた移動稽古は立派な形に仕上がりました。最後に、高校生がミットを構えて、小学生に習った突きや蹴りを思いっきり試してもらいました。「楽しかった!」という小学生の声を聞いて生徒たちはうれしそうです。（空手道部）



学生に紹介したり教える北高生は、みんなとても楽しくうれしそうです。「先生」という、いつもとは異なる立場に立つことは、本校の生徒たちにとっても大変有意義な機会でした。

初めてでも失敗の少ないマドレーヌを作りました。小学生にもわかりやすいレシピを事前に作成し、前の週には予行演習も。計量、粉をふるう、生地を混ぜる等、簡単な中にも様々な作業があります。オープンに入れたマドレーヌが焼けるにつれ調理室においしそうな香りが満ち、あちこちから歓声が。最後は試食会、本当においしかったね! 部員にとって初のアウェーでの活動は大変勉強になりました。（家庭部）



夏休みの書写（毛筆）の課題を一緒に書いてみたり、アドバイスをしたりして作品を仕上げました。初めて筆を握る低学年の子どもには、道具の使い方や筆の握り方から教えました。普段感覚で制作することが多く、何気ない技法を言葉にして伝えることの難しさを実感しました。指導してどんどん上達していく子ども達の姿がうれしく、貴重な経験となりました。（書道部）



小学生30名とドリブルやレイアップシュートなど基礎的なバスケの技術を練習しました。小学生は楽しそうに参加しており、大きなケガもなく終わることができました。（バスケットボール部男子）



アイスブレイクにしばり取りゲームをしました。雰囲気はほぐれた後、背中の上でボールを転がしてキャッチする練習をする等、ボールを使った技や演技の練習をしました。音楽に合わせて通し練習をし、最後は保護者さんの前で発表しました。「みんなで演技をするのが楽しかった」、「教え方が上手」、「楽しかったので新体操を習いたいと思った」といううれしい感想をいただきました。北高生にとっても貴重な経験になりました。（新体操部）



## 3年 大学入試共通テスト マイページ作成

2026（令和8）年1月実施の大学入試共通テストから出願方法が大きく変わります。これまでは在籍高校を通じた郵送出願でしたが、受験生個人によるウェブ出願（インターネット出願）へと全面移行し、出願等に係る全ての手続（出願内容の登録や訂正、受験票の取得、成績の閲覧等）は全ての志願者が個人で「大学入学共通テスト出願サイト」のマイページで行います。10月3日（金）までに個人で出願内容の登録や検定料等の支払いを済ませなければ共通テストを受験することができなくなるため、出願のためのウェブサイトを受験生個人がマイページを作成する必要があります。7月18日（金）終業式後に3年の各クラスの教室で担任の指導の下、各自がスマートフォンでマイページを作成しました。



3年5組の教室に伺いました。担任の曲淵先生が電子黒板を用いて説明されるのを参照しながら各自で作業をしました。令和の高校生は電子メールを使う機会が少ないので、メールアドレスを登録しテストメールを確認するのも簡単なことではありません。マイページが表示され右上に自分の名前が出たら終了なのですが、それまでに「できません」「表示されません」の音がチラホラと…スマートフォンの容量に余裕がなくてメールが開けなかったり、あと少しのところまでギガが足りなくなり速度が急低下したため自宅に帰った後でなければ作業を完了させることができなくなったりする等のトラブルもありましたが、8月上旬には共通テスト受験予定者全員がマイページを作成することができました。出願内容の登録や検定料の支払い等、続きの作業は北高祭終了後です。いよいよ受験に向けてそれぞれの生徒が進むこととなります。



## スリランカからの留学生 カウェーシャーさんからのお手紙

本校にスリランカからの留学生 ラスナーヤカ ラーラーゲ カウェーシャー ギムハーニ ラスナーヤカさんがやって来ました。8月26日(火)から2年1組の教室で他の生徒と一緒に授業を受けています。この度、北高生に英語でお手紙を書いてもらいましたので紹介します。

### A Sri Lankan heart in Japan – My exchange journey

Coming to Japan as an exchange student has been one of the most exciting chapters of my life. As a Sri Lankan, I grew up surrounded by warm sunshine, endless greenery, and the rhythm of traditional drums that make our festivals so lively. Life in Sri Lanka is full of family bonds, strong friendships, and a culture where we always say “Ayubowan (May you live long)” with both hands pressed together.

Arriving in Japan, I instantly noticed how different yet how beautifully similar life can be. The politeness of people here reminds me of home. I was toughed by the respect shown to elders, the deep appreciation for nature and the spirit of working together as a community values that both our countries share.

Of course, there are new experiences every day. I had to adjust to punctual trains (Sri Lanka is never this fast), try Japanese food like sushi and okonomiyaki and even struggle a little with kanji. At first, it felt overwhelming, but slowly I realized that each challenge is also an adventure.

What excites me most is the chance to share Sri Lankan culture with my Japanese friends whether it's teaching them a few Sinhala words, telling stories about our ancient kings, or describing the beauty of a cup of Ceylon tea. At the same time, I am learning so much from Japanese school life – discipline, teamwork, and how everyone contributes to make the school community stronger.

This exchange is not just about learning in classrooms. It's about growing as a person. I am discovering how two cultures, though thousands of kilometers apart, can connect through kindness, respect and friendship.



## 次号第8号(今月下旬発行予定)は 北高祭特集です!!

「緑楠(りよくなん)」に取り上げてほしい北高の話題があれば、担任の先生などを通してお知らせください！自薦他薦は問いません。(佐賀北高校 総務部学校だより担当まで)

## 9月中旬以降の主な行事予定

面談週間(～12日(金))

- 12日(金) スクールカウンセラー来校(午前)
- 13日(土) ベネッセ駿台共通テスト模試(3年)(～14日(日))
- 16日(火) 小論文講演会(3年)
- 20日(土) 看護模試(3年)
- 22日(月) 防災避難訓練(地震・出火)
- 26日(金) スクールカウンセラー来校(午前)
- 29日(月) 先輩との講演会(1年)、人権・進路保障HR(3年)



※予定は変更となることがあります。学校ホームページや  
スクールニュース等でご確認ください。